

G3 のツイッター その5

烈剛河内 竹井 保満

7月初めの朝、我が家の前で犬の散歩中のお年寄りが亡くなられた。

年寄りといっても私より一回りは若い七十歳代と思われます。救急車が出動し AED や人工呼吸も無駄でした。警察は交通事故ではないかと張り紙をだし、事故の目撃者を探しているが、いまだに有力な情報は得られていません。

私の考えでは、犬に引っ張られて交通標識の鉄柱にぶつかりひっくり返って頭を強打されたのではないかと思います。理由は、車のブレーキ音を誰も聞いていない、車の塗料やガラスの破片がかけらもない、亡くなった人の血液も落ちていないことなどがあげられます。

今では、忘れられたように牛乳瓶に一本の枯れた花が哀れです。

「人間到る処青山あり」さて、私めは何処でどの様にして「願わくば終の棲家で我死なん」ごく自然にこの世からおさらばできればと願っていますが・・・

来る9月15日は敬老の日です。今の年寄りが国を挙げて敬って貰う状態でしょうか、身内が素晴らしいお爺ちゃんお祖母ちゃんだと敬ってくれる人々は幸いです。

「敬老の日」が制定の前は、「老人の日」でした。

老人福祉法に基づいて1966年に「老人の日」を制定されました。その後2003年から名称を「敬老の日」としたので、元々は敬老ではないのです。老人の生活保障や健康保持のための老人福祉法から出て来たものです。

老人福祉法があるとはいえ、孤独死される老人、年寄りの万引きや犯罪が急激に増えています。破廉恥なストーカー老人、老老介護の人たち、万を越える痴呆老人達の家出、等々。戦後の戸籍法の改正により、家族がバラバラな状態で暮らすようになったのも大きな要因です。

団塊の世代の高齢化がたくさんの問題を抱えながら目前に迫っています。為政者も人気取りの税金のばら撒きでなく、老人福祉法、老人保健法などに則り応分の対応がのぞまれます。

JPA 時報が届きました。

女子マスターズⅣの新設、当然のことながら先ずは、おめでとう存じます。私も四年後の敬老の日には卒寿を迎えます。JPA もマスターⅥの話は無理でもⅤの新設ぐらいは如何でしょう。

私が昨年からお世話になっているウェイトリフティング協会では、85歳の私の初参加で、80歳まででした上限を85～90歳クラスが作られました。正に敬老の日のプレゼントでした。私は、アンチエイジングのパイオニアを自負し、百歳のアスリートを目指して色々和努力をしています。

敬老には程遠いですが自分なりによく生きたと思える終活に取り組みたいと思う今日この頃です。